



卒業おめでとう

三年間の思い出と在校生へ贈る言葉

『高校三年間を振り返ってみて...』

3年1組 菅藤（前生徒会長）

高校生活三年間を振り返ると、様々な思い出がつい昨日のことのように感じられます。入学当初は三年間無事に過ごしていけるか、不安でいっぱいになりました。知らない人だらけの中、初めて体験する授業や実習作業...、誰も助けてくれませんでした。しかし、日がたつにつれ、クラスメイトとの絆も深まり、お互い助け合いました。ところが昨日までクラスメイトだった友達が、突然退学することもあり、毎日が気の抜けない日々でした。そんな中、生徒会と出会い、生徒代表として様々な学校行事など通じ、いろいろなことを学びました。そして、とても充実した日々を過ごすことが出来ました。



生徒会を引退し、卒業を迎えるにあたり、「この学校に入学して、本当によかった。この仲間達と共にやっていけて本当によかった。」と思います。この先、これだけの思い出を作るチャンスはそうはないだろうと思います。

在校生の皆さんは、この学校でたくさんの思い出を作って、クラスメイトとの絆をどんどん深めてお互いに助け合う心を持ってほしいなと思います。また、授業等で学ぶ知識や技術は、将来への大切な宝物となります。それを授けてくれた先生方には、あまり失礼、迷惑をかけないように。

最後に、私のメッセージは文集「白壁」にもありますので、ぜひご覧ください。

卒業おめでとう



『三年間の思い出と在校生へ贈る言葉』

3年4組 坂本（前自治委員長）

先生方、三年間有難うございました。私はこの北豊島工業に来たからこそ、様々な経験ができたと思っています。生徒会や剣道部をはじめ、すべての学校生活において先生方のお力添えには心から感謝しております。本当に有難うございました。

生徒会の役員の方、役員になったからには、「やる気」と「責任感」が問われてくる事でしょう。しかし、重苦しく考えず、「何が正しいのか」、「今、何をやるべきか」を考えて行動すれば答えは見えてくるはず。役員はもちろん、数年後に社会人になる後輩の皆さん全てにも言えることです。辛いこと、苦しいことには立ち向かっていきましょう。そうすれば道は広がっていきます。逃げ道には行かず、自分の道を見つけて頑張ってください。

北豊島の皆さん、有難うございました。



スキー修学旅行（第二学年）

平成20年2月5日から8日、山形蔵王

2年1組 高良

今年の二年生の修学旅行は山形の蔵王でのスキー教室でした。

私は、中学二年生の時に九州の修学旅行でスキーを体験していたので、正直あまり楽しみにしていませんでした。



蔵王は景色がきれいで、樹氷もたくさん出来ていました。

二日目の日は、晴れていてスキーをするのがすごく楽しかったです。みんなは一生懸命インストラクターの人の話や注意を聞いて滑っていました。

私が滑っている時、後ろからすごい速さで滑り降りてくる生徒もいて、笑ってしまい、バランスを崩して私も何回か転んでしまいました。

練習するうちに、スピードもコントロール出来るようになり、あまり転ばないようになりました。

いろいろなコースに行き、時には急な斜面もあり滑るのが怖かったりもしましたが、慣れてくると恐怖心もなくなり普通に滑る事が出来るようになりました。

地蔵は顔と肩だけが出ていて、元々こういう物なのかなと思いましたが、今は雪が積もって顔と肩しか出ていない事を聞きました。そんなに雪が積もっているのかと、おどろきました。

この修学旅行では、普段あまり学校で喋ったりしない女子生徒とも話をしたり、トランプをしたりして、すごく楽しい、良い思い出になりました。家族や友達とスキーに行く機会があれば、この経験を生かしたいと思います。



2年2組 春日

修学旅行の一週間前、説明会で初めて「もう来週から始まるんだ」と言うことを分かった。適当に現地で遊べるものや、着替えの準備。何でもいいやと思っていたが、いざ行動に移ると、結構と迷うものである。

そして日は経ち、前日の夜。朝寝坊は厳禁のため、目覚まし時計を一つ、そして携帯の目覚ましを二台ともセット（ちなみに起床予定は朝六時）安心？して眠りました。



そしてお待ちかね、当日朝。三台の目覚まし部隊の強襲。さすがに起きました。

事前に荷物を送っていたので、手提げ一つでいざ東京駅へ。道中は通勤ラッシュで、わかりきったことではあるが、イライラ。

東京駅に着き待ち合わせの場所を確認し、朝の買い物に近くのセブンイレブンへ。軽く朝食を済ませた後、待ち合わせ場所へと急ぐ。

到着した頃にはもうほとんどの人が集まり出発を楽しみにしていた。

そして、やっと出発の時刻。新幹線は中学3年の時に行った修学旅行～神戸編～以来だったのでワクワクしていました。

山形への道中は友達とトークで盛り上がった後に熟睡。気付くと福島県の終わりの方にいました。

山形駅に着き、バスに乗り換え、蔵王のホテルへ。山のふもとでロープウェイに乗り換えて中腹の駅まで登り、そこからは徒歩でホテルに向かいました。その道中は雪と風のコラボで見事に歩き辛く、そして、とても寒かったです。

やっとホテルに到着し、荷物を整理してから、本題のスキー実習に入りました。

スキーは初めてで、全く分からず、とりあえず平らな斜面を直滑降で滑るのがいっぱい、いっぱいでした。けれども、一日目の講習が終わる頃には、斜面を少しずつ登って、スピードを制御しながら滑ることができるようになりました。



講習二日目。この日は天気にも恵まれて、蔵王の山からふもとまでの絶景を見ることができました。それとともに、この日は曲がり方を教わり、リフトに乗って様々なコースを回ることができて、とても楽しかったです。



そして、いよいよスキー最終日の三日目。だいぶ上達してきて、もっといろいろなコースにチャレンジしたいと思い、前日とは全く違ったコースを滑りました。

そのついでに、山頂まで登り、すばらしい樹氷を見ることができました。

そして、三日間に渡るスキー教室を終えて宿にもどりました。

四日目に陶芸を体験した後、お土産を買って新幹線に乗って帰って来ました。帰りの新幹線は、疲れてグッスリと寝てしまいました。

最後になりましたが、今回の修学旅行は、スキー班、相部屋の友達など最高の仲間だったのでとても楽しかったです。あと、最高の粉雪なので来シーズンは本命のスノーボードで滑りたいです。

2年3組 高木

自分が修学旅行に行って思ったことは色々ありました。一つは、時間を守れない人が多いことです。先生からは五分前行動をしると言われているのに遅れてくる人がいたりして時間通りに進められなかったことです。

二つ目は、人の話を聞かない人が多いことです。スキーの時に前で話しているにもかかわらず



雪を投げあっている人がいたり、先生が何か言うたびに笑ったり、野次をとばしたりしているのを見て少し頭にきました。

三つ目は、ハメをはずしすぎていることです。お互いに雪を投げあっていたのがエスカレートして殴り合ったり、一人に対して雪を投げてふざけている時にそれを見ていた人が突然、雪を投げられている人の顔面に雪を押し当てたりする人が多かったことです。

四つ目は、スキーをしている時にスキー板が当たったのに謝らずにそのまま行ってしまう人が他の学校の生徒でいたことです。

五つ目は、挨拶をしない人が多かったことです。朝、先生やホテルの人に会った時に素通りをしたり、挨拶をしてきても無視をする人が多すぎたので驚きました。以上が修学旅行で自分が思った良くないところです。次は修学旅行で自分が思った楽しいことを書こうと思います。

まず最初に思ったことは、東京と違い高い建物がないので遠くまで景色が見えてとてもきれいだったことです。でも一面雪で、白くて少し眩しかったです。

次に思ったことは、他のスキー客は非常にマナーが良かったことです。でも、僕の学校の生徒は、あまりマナーが良くなかったことが少し悲しかったです。

そして、何よりも驚いたことは、先生たちのスキーが上手いことでした。二人の高橋先生は、スキーがうまいのを知っていましたが、新井先生や村田先生も上手くできたのには、失礼だけれども驚きました。しかも、カメラマンの方がもっと上手かったのには、すごく驚きました。



最後に自分が思ったことは、この修学旅行をきっかけに他のクラスの人と話すようになったことです。今までは、自分と他の人との間に線を引いて関わろうとはしなかったけれども、今回少し勇気を出して線をこえてみたら、今まで「他人」だったの人が「友人」に変わることを知りました。これからは、もう少し自分から何事もチャレンジしていこうと思いました。

修学旅行に行って多くのことを学び、多くのことを感じることができました。多少は良くないこともありましたが、とても充実できました。

修学旅行とは関係ないのですが、家に帰ってみると母親が高熱を出していて、次の日は父親も熱を出して、さらにお姉さんの家族がインフルエンザにかかってしまい、帰ってきてからゆっくり休めなかったです。

2年4組 溝口

2月5日、今日は修学旅行初日。新幹線に乗り目的地の「山形県蔵王温泉パラダイス」へと向かう。新幹線の中は全体的に静かで、中学生の時の方が騒がしかったのでビックリだった。自分は山形県に着くまで、友達とトランプをしたり、話をしたりしてとても楽しかった。そして、山形県に着いたのはいいが、まだ、蔵王温泉にはほど遠く、次にはバスでの移動だった。バスの中は暖かく、眠くなる一方だったが、目的地に着くまでは山形県の景色を観たり、バスガイドさんの話などを聞いていた。最終的には、寝ずに景色を見て楽しんでた。山形県に着いた時は、気温はそれほど寒く感じ無かったし、雪もあまり無かった。でも、バスで山に登るにつれ、雪の量は増えていくし、真っ白なのでとても綺麗だった。バスを降りると白くて細かい雪がチラチラと舞い降りていて、東京の雪とは明らかに違う雪だった。近くにはロープウェイがあって、それに乗り、山のさらに上の方へ。そこには約50cmの雪が積もっていて、触ってみると粉のようにサラサラとしていた。初めて触った粉状の雪に、興奮している自分がいた。ロープウェイからホテルまでの距離は結構あったらしいが、自分はとても短く感じた。

皆が部屋に着いて30分くらい経ってから、スキーウェアに着替えていよいよスキーが始まる。スキー板は思っていたより重く、とても動きにくかったが、その時間内に自分は5回も倒れたり、暴走したりして皆に迷惑をかけてしまった。次の日の講習では暴走しないように、自分の思った通りにスキー板を制御して滑りたいと思った。



二日目、午前中に10回以上倒れたが滑れるようになった。まだまだ不安定な所があったため、午後の講習ではもっと気合いを入れて頑張りたいと思った。午後には山頂に行き景色を眺めた。その日は珍しいほど晴れていて、上から下まで全て一望できた。そして、山頂には約3mの地蔵があった。3mとは言っても肩から下は雪に埋もれていて、上の方がドンと出ているのである。そして、写真を皆で撮り、スキー再開。結局、その日は20回以上倒れて終わった。

三日目、昨日より倒れる回数が減り、スピードも自分で制御できるようになった。今日で講習が最後なので自由時間などがあって良かった。

四日目、今日で東京へと帰る日。帰り道の途中で陶芸教室へより、皆作っていた。自分の作った物は自分でも何が作りたかったのかが分からなかった。そして、お昼ご飯を食べて、お土産を買って駅へ。新幹線の中ではカードゲームをして時間を過ごし、東京駅に着き修学旅行は終わった。

今回の修学旅行ではクラスが仲良くなったと思う。そして、普段出来ない陶芸が出来、スキーも最終的に出来て良かった。機会があったら、また行きたいと思った。

2年5組 生玉

もう一月も終わりに近づき何度も修学旅行の説明があったので、なんだか不思議だなと思ってカレンダーを確認したら二月五日から修学旅行の日でした。

かなり焦りました。修学旅行は、まだまだ先だと思っていたので荷物は用意してなく、ほとんど何も考えていなかったからです。大きい荷物は先に山形へ送ってしまうので、簡単な着替えなどを詰め込んで学校へ持って行く期限ぎりぎりに何とか準備が間に合いました。前日までは、とても気楽になりのんびり過ごしました。



前日の夜は、朝起きられるかが不安で目覚まし時計を3個、1分ずつ差をつけて、なるようにセットし早めに寝ました。

朝は起きることができたのですが、早めに寝たのにも拘わらずかなり眠く東京駅に着くまでの電車の中で寝てしまわないか心配でした。けれど、朝の通勤ラッシュのおかげで眠らずにすみました。行く前から疲れしました。

東京駅に着いた時には、ほとんど皆そらっていて、いつでも出発できる状態でした。東京駅で新幹線を待っている間、列車の中でどうやって時間をつぶそうか考えていました。

出発時間がきて、新幹線に乗り込んで、座席に座ったと思ったらすぐ寝てしまいました。お弁当を食べるときに、少し起きたはずなのにほとんど記憶が残ってなくて、意識がはっきりしたのは到着約三十分前でした。起きた後は、外の雪景色を眺めていたら三十分などすぐ経過して、新幹線からバスに乗り換えホテルまで向かいました。バスから降りてからロープウェイで山を登り、そこから雪道を二十分ほど歩きました。雪道は、思ったより歩くのがつらく山の上は酸素が薄く、少し歩いただけでかなり疲れしました。先生からは、二十分といわれたけれど、実際に歩いてみると、とても二十分とは思えませんでした。

宿舎に着いてから、先に送っておいいた大きい荷物をチェックした後に、スキーウェアに着替えて、一日目のスキー実習をしました。一日目のスキー実習は、開講式などがあって、実際に滑っ

た時間は、三十分しかなくて、歩く、止まるなどの基本的なことしか教えてもらえませんでした。

二日目と三日目は午前と午後に分かれて、二時間ずつ滑りました。

二日目の午前は、コースまで移動して初めて、坂を滑りました。最初は、止まる事ができないので転ぶ時が止まる時になってしまいました。午前の部が終わる頃には、止まる事が何とかマスターでき、午後の部が終わる頃には曲がる事も出来るようになりました。

三日目は、スキーに慣れてきたので、インストラクターの人が全部のコースを案内してくれたので、とても楽しかったです。(一部危険なコースを除く)

四日目は、陶芸を体験して、新しい感覚にとっても不思議な思いができて、面白かったです。帰りは、ぐっすり眠ることができました。



写真提供：2年2組 銀鏡

《各種検定等合格者》

第三種電気主任技術者試験(科目合格:理論)
鈴木(3-4)

第一種電気工事士
鈴木(3-4)
ジュニアマイスターポイント:20ポイント

情報技術検定3級
川崎(1-2)、阿部(1-3)、石澤(1-3)、杉浦(1-3)、
鈴木(1-3)、高橋(1-3)、竹之内(1-3)、児島(1-5)、
石川(2-4)、寺内(2-4)、富田(2-4)、原木(2-4)、
松谷(2-4)、生玉(2-5)、筑前(2-5)、長橋(2-5)、
南波(2-5)、松下(2-5)
ジュニアマイスターポイント:2ポイント

みんな“おめでとう”

第10号は3月25日(火)発行予定です。